厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

社長の「がんアクション」は、企業の「人財」を守ります。

日本では死亡原因の第1位が「がん」となり、毎年新たにがんに罹患する人は、約101万人。
がん患者の約1/3は労働人口であり、「人財」が最も重要である企業にとって、
「がんアクション(がん対策)」は取り組むべき重要課題です。

[がん対策推進企業アクション]
パートナー企業・団体募集中!!

2017
がん
アクション
宣言!!

がん対策推進 企業アクション

私たちが、企業の「がんアクション」をサポートします。

推進パートナーに登録いただいた企業・団体様に「がんアクション」の最新情報や「がんアクション」を推進するためのツールを無料でご提供します。

※出張講座の講師謝礼と交通費などの実費は企業・団体様にご負担いただきます。

●ポスター
従業員へがん検診受診を
啓発するツールとして印刷した
ポスター（1種）とPDFデータ（4種）をご提供します。

●ニュースレター
がん対策の最新情報を
わかりやすくPDFデータで
ご提供します。
社内の啓発ツールとして
ご活用いただけます。

●冊子「がん検診のススメ」
がんに関する知識や
がん検診の重要性について学べる一冊。
初回のみ、従業員の人数分を無料送付。
（ただし1000部を上限。2回目以降は有償）
ダイジェスト版もPDFで利用いただけます。

がん対策推進
企業アクション

●ロゴの活用
がん対策推進企業アクションのロゴを
企業のホームページや名刺などに
ご活用いただけます。

●ホームページでの情報提供
がん対策で効果をあげている
企業・団体の事例やがん対策に
効果的なデータ等を掲載しています。

●推進パートナー勉強会
がんについての最新情報を
お伝えする勉強会を
毎年全国7か所で開催しています。

●出張講座の講師コーディネート
推進パートナー様で勉強会などを開催される際の
講師のコーディネートを行っています。
（ご希望の際には、事務局にご相談ください。）

がん アクションは経営課題のひとつです。

企業が取り組める3つの「がんアクション」とは。

1 がん検診の受診を啓発すること。
企業の健康診断にがん検診を取り入れたり、検診の効果を啓発することで、検診受診率は高まります。
また、有効な検診を実施することや精密検査の受診のフォローも重要です。

2 がんについて、会社全体で正しく知ること。
がんは早期発見が重要であること、がんになっても治療しながら仕事ができること、高額療養費制度で
治療費の負担が抑えられること、禁煙や飲酒量に気をつけることでがんになるリスクが下がることなど、
がんについて正しく知ることで、人材が失われない、社員が安心して働き続けられる会社づくりにつながります。

3 がんになっても、働き続けられる環境をつくること。
社員ががんになったときに、会社が治療をサポートする休暇制度や時短勤務制度、治療と仕事の両立を支援する
社内風土づくりなど、治療しながら働き続けられる環境づくりが、大切な人材を失わないポイントとなります。

推進パートナーは、ホームページより、お申込みいただけます。 詳しくは がんアクション 検索

厚生労働省委託事業 **がん対策推進企業アクション事務局（株式会社 朝日広告社 内）**
〒104-8313 東京都中央区銀座7-16-12 G-7ビル Tel:03-3547-5533 Fax:03-3547-5558
E-mail:info@gankenshin50.mhlw.go.jp http://www.gankenshin50.mhlw.go.jp

facebook @gankenshin50